

平成 29 年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(平成 30 年 1 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(平成30年1月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	4 (4)	4 (4)
	2. 負傷事故	3 (0)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (4)	4 (0)	1 (1)	3 (5)	7 (5)	5 (1)	0 (3)	0 (2)	34 (25)	34 (25)
	合計	3 (0)	2 (1)	2 (1)	5 (3)	3 (4)	4 (1)	2 (2)	4 (5)	8 (5)	5 (1)	0 (4)	0 (2)	38 (29)	38 (29)
	累計	3 (0)	5 (1)	7 (2)	12 (5)	15 (9)	19 (10)	21 (12)	25 (17)	33 (22)	38 (23)	38 (27)	38 (29)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (2)	0 (0)	8 (3)	8 (3)
	2. 負傷事故	4 (5)	5 (4)	5 (6)	5 (8)	8 (5)	12 (8)	6 (8)	15 (7)	13 (13)	13 (15)	0 (15)	0 (9)	86 (103)	86 (103)
	合計	4 (5)	5 (4)	6 (6)	7 (8)	8 (5)	14 (8)	7 (8)	16 (7)	13 (14)	14 (15)	0 (17)	0 (9)	94 (106)	94 (106)
	累計	4 (5)	9 (9)	15 (15)	22 (23)	30 (28)	44 (36)	51 (44)	67 (51)	80 (65)	94 (80)	94 (97)	94 (106)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (1)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (3)	0 (0)	12 (7)	12 (7)
	2. 負傷事故	7 (5)	7 (5)	7 (7)	9 (10)	11 (9)	16 (8)	7 (9)	18 (12)	20 (18)	18 (16)	0 (18)	0 (11)	120 (128)	120 (128)
	合計	7 (5)	7 (5)	8 (7)	12 (11)	11 (9)	18 (9)	9 (10)	20 (12)	21 (19)	19 (16)	0 (21)	0 (11)	132 (135)	132 (135)
	累計	7 (5)	14 (10)	22 (17)	34 (28)	45 (37)	63 (46)	72 (56)	92 (68)	113 (87)	132 (103)	132 (124)	132 (135)	-	-

※下段()書きは前年度(平成28年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成30年1月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	1	0	1	2	2	1	1	3	3	1	0	0	15	9
	2. 政令市	2	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	9	5
	3. 一般市	0	1	0	2	0	2	0	1	3	4	0	0	13	13
	4. 町村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	8	5	0	0	38	29
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. マンホール	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3	7
	3. 処理場	1	2	1	4	2	2	2	3	5	5	0	0	27	16
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4
	5. その他	1	0	1	1	0	1	0	1	2	0	0	0	7	1
	合計	3	2	2	5	3	4	2	4	8	5	0	0	38	29
事故類型	死亡事故	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
	負傷事故	3	2	2	4	3	4	1	3	7	5	0	0	34	25
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	7	11
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	1	0	0	0	0	0	0	1	4	2	0	0	8	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	4
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	0	7	2
合計	3	2	2	5	3	4	2	4	8	5	0	0	38	29	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	7	5	0	0	35	26
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	4
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	8	5	0	0	40	31
累計	3	5	7	12	16	21	23	27	35	40	40	40	-	-	

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	2. 委託先業者	0	1	1	2	4	0	1	5	4	1	5	2	26
	3. 第三者	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	4
	合計(人)	0	1	1	3	4	1	2	5	6	1	5	2	31
累計	0	1	2	5	9	10	12	17	23	24	29	31	-	

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成29年度

平成30年1月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等		
1月								
1	H30.1.11	3. 一般市	処理場	①負傷事故	9.感電	発電機棟での作業中、作業員が盤内の清掃作業中に停電中だと思込み、充電部に右手で触れて感電した。	<ul style="list-style-type: none"> 作業前に作業手順書の読み上げ確認を行う。 市職員が立会いを行い、状況を確認し必要に応じ現場責任者に対して安全面の指導を行う。など 	委託先業者
2	H30.1.15	3. 一般市	処理場	①負傷事故	1.墜落・転落	炭化炉から発生するばいじんの搬出作業中に釣荷を避けようとしたところ、積載型トラックの荷台より落下した。(右肩脱臼、右肋骨骨折等)	<ul style="list-style-type: none"> 作業手順書を作業前に読み上げ確認を行う。 全体が目視できる位置に作業指示者を配置し安全に努める。など 	委託先業者
3	H30.1.23	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	5.転倒	自転車で巡回中に積雪箇所転倒し、後頭部を打撲した。	<ul style="list-style-type: none"> 罹災者が所属する会社の社内安全指導の内容に「悪天候時のヘルメット着用」を追加及び安全対策の周知を徹底 	委託先業者
4	H30.1.24	3. 一般市	処理場	①負傷事故	14.その他	場内除雪作業のため、シャベルローダーで作業中にマンホール蓋にバケットの爪がかかったことで乗務員が衝撃を受け負傷。(頸椎損傷・両手のしびれ)	今後、事故事例として安全管理の徹底を図る。	委託先業者
5	H30.1.29	3. 一般市	処理場	①負傷事故	5.転倒	床清掃をする為、両手に清掃道具を持ち現場に向かった際、汚泥棟玄関入口の段差につまづき転倒し、左膝を骨折した。	検討中	委託先業者

3.事故発生状況(工事) (平成30年1月末現在)

平成29年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	0	1	0	1	1	3	1	1	0	0	0	0	8	6
	2. 政令市	1	2	0	3	2	1	2	3	0	2	0	0	16	19
	3. 一般市	3	2	4	3	4	11	7	12	10	10	0	0	66	69
	4. 町村	0	1	1	2	0	0	0	2	2	1	0	0	9	10
	5. その他	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4	2
	合計	4	6	6	9	7	15	10	19	13	14	0	0	103	106
工事分類	1. 管きょ開削	2	4	3	3	3	9	7	14	8	6	0	0	59	67
	2. 管きょ推進	0	1	1	3	3	0	1	1	2	3	0	0	15	12
	3. 管きょシールド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	3
	4. 管きょその他	0	1	1	0	0	1	1	1	1	2	0	0	8	4
	5. 処ポ土木建築	2	0	1	2	0	3	0	0	1	1	0	0	10	9
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	5	10
	7. 処ポその他	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	4	1
	合計	4	6	6	9	7	15	10	19	13	14	0	0	103	106
事故類型	1. 墜落・転落	1	1	2	4	0	3	1	4	2	4	0	0	22	22
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	1	2	2	1	3	3	6	3	2	0	0	24	23
	3. 飛来・落下	1	1	1	0	1	1	0	2	0	2	0	0	9	6
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	1
	5. 転倒	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	3	5
	6. 激突	0	1	1	0	0	0	0	1	2	2	0	0	7	8
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	2	2	2	1	2	0	0	0	9	6
	8. 交通事故	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	0	2	3	0	1	3	2	0	0	11	14
	12-2. 公衆災害(物損)	0	1	0	2	0	0	3	2	0	1	0	0	9	10
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	14. その他	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4	4
合計	4	6	6	9	7	15	10	19	13	14	0	0	103	106	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	1	0	0	8	3
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	4	13	8	9	0	0	58	69
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	6	4	0	0	30	24
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	7	17	14	14	0	0	96	96
	累計	4	9	15	22	30	44	51	68	82	96	96	96	-	-
その他(民間発注工事など)															
	1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3
	2. 重傷	4	1	5	5	3	7	7	5	7	10	10	5	69
	3. 軽傷	1	3	1	3	2	1	1	2	5	1	2	2	24
	合計(人)	5	4	6	8	5	8	8	7	13	11	14	7	96
	累計	5	9	15	23	28	36	44	51	64	75	89	96	-
その他(民間発注工事など)														
	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
	2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成29年度

平成30年1月末現在

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
1月										
1	H30.1.6	3.一般市	4.管きよその他	樹木の伐採	現場内	高木撤去時に三脚を使用し高木の枝打ち作業をしていたところ、切った枝が三脚の控え脚の部分に接触し、三脚の4段目にて作業中の作業員が転落した。	1.墜落・転落	44	男	左足脛骨骨折(全治2月)
2	H30.1.6	3.一般市	1.管きよ開削	掘削作業	現場内	側溝掘削時に隣接家屋の土留壁が倒れ、壁部と路面の間に挟まれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	23 69	男 男	・両足大腿骨骨折、骨盤骨折 ・両ひざ裏の大動脈切断
3	H30.1.8	3.一般市	1.管きよ開削	—	現場内	開削工法における管渠設置工事において、マンホール周囲の転圧不良によりマンホールの周囲が沈下していたため、その場所を通過した自動車のバンパーが損傷した。	12-2.公衆災害(物損)	—	—	—
4	H30.1.10	4.町村	2.管きよ推進	後片付け作業	現場内	工事後片付け作業を行うため、国道を挟む立坑現場へ向かう際、国道走行車と接触した。なお、現場には交通誘導員が配置されており、作業員が横断した際車両が近づいていることを指示したが、作業員は難聴を患っていたため、気づくのが遅くなり車両と接触してしまった。	8.交通事故	70	男	左足首骨折、左足首上部骨折、肩打撲
5	H30.1.13	3.一般市	2.管きよ推進	人孔設置準備作業	現場内	立坑内で矩形ブロック人孔の開口養生を撤去している際、誤って転落した。なお、事故当時、安全帯使用等の安全措置はとられていなかったが、事故の発生経緯は不明(現時点では、本人の不注意もしくは体調不良によるものと考えられる)。	1.墜落・転落	66	男	死亡
6	H30.1.15	3.一般市	6.処ボ機械電気	防食工	現場内	沈砂池の仮設足場設置工事中に、足場の部材が落下し、作業員(ヘルメット着用)の頭部に接触し負傷。	3.飛来・落下	34	男	右肩上部及び肩間 裂傷(各2針縫合)
7	H30.1.16	2.政令市	1.管きよ開削	取付管布設替工	現場内	取付管布設替工の埋戻し作業を行っている際、開口部に設置していた敷鉄板(3.0m×1.5m)を移設中に、吊るしていた敷鉄板が地上に接地したときに、敷鉄板を吊るすためのフックが外れ、作業員の右足が敷鉄板の下敷きになった。	2.はさまれ・巻き込まれ	28	男	右脛骨骨折、右母趾開放骨折
8	H30.1.17	3.一般市	2.管きよ推進	—	現場内	下水道管渠工事に伴う舗装本復旧工事(切削オーバーレイ工)を実施し、工事完了後に道路開放(通行再開)したところ、道路内のマンホール蓋φ330が外れており、その開口部に原動機付自転車はまり転倒した。	12-1.公衆災害(人身)	83	男	脳出血(入院3日)
9	H30.1.17	3.一般市	3.管きよシールド	溶接工	現場内	ミニシールド工発信基地より、バッテリー機関車に連結した入車で、作業員2人を搬送していたとき、鋼製セグメントとRCセグメントの段差部(17mm)に、作業員のヘルメットのヘッドライトバッテリー(後頭部側に設置)が接触した。なお、定員を2名と定めた(労働安全衛生規則第223条)入車で作業員を含め3人を搬送していた。	6.激突	50	男	中心性脊髄損傷
10	H30.1.19	5.その他	5.処ボ土木建築	運転手(ブーム運搬トレーラ)	現場内	クローラークレーンのブーム延伸作業のうち、既設ブームを一旦切り離す時、ブーム接続ピン(概略外寸φ50×160、重量2.4kg)をハンマーでたたいて外していたところ、ピンが勢いよく外れ、ピンから約4m離れたところに立っていた被災者にあたり負傷した。	3.飛来・落下	68	男	顔面骨骨折、側頭骨骨折、外傷性くも膜下出血
11	H30.1.19	3.一般市	1.管きよ開削	土留め工	現場内	トラック上で鋼矢板積込作業中、足が鋼矢板に引っかかっていたことに気付かなく、トラックの荷台から降りる際に体制を崩し転倒した。	1.墜落・転落	26	男	右足ふくらはぎ肉離れ
12	H30.1.20	3.一般市	1.管きよ開削	土留設置工	現場内	開削工法によるたて込み簡易土留作業中において、一次掘削2.0m土留工完了後、更なる掘削作業中、継ぎパネルを設置前に、掘削深さの確認のために掘方の中に入った際、上部の浮き石が突然崩れ、確認作業中の作業員に当たり、負傷した。	6.激突	41	男	左足首骨折(全治2ヶ月)
13	H30.1.20	2.政令市	4.管きよその他	既設管改造(内面被覆工)	現場内	再構築工事中、モルタルポンプ稼動用に道路横断する形で電源ケーブルを車道上に敷設し、ゴムマットにより養生したうえ、交通誘導警備員を現地に配備して、注意するよう声掛けを行っていた。しかし、被災者が徒歩にて通行しようとしたところ、養生箇所にて約3cmの段差があったことから、つまずき転倒した。	12-1.公衆災害(人身)	80	女	左腕骨折(全治6週間)
14	H30.1.30	3.一般市	1.管きよ開削	ます設置作業	現場内	民地の汚水樹設置完了後に、ハンゴを昇って地表に上がる時に足を滑らせて簡易土留に肋骨を強打した。	1.墜落・転落	62	男	肋骨骨折

平成 29 年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(平成 30 年 1 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況

(平成30年1月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	0 (4)	0 (1)	49 (48)
	累計	1 (3)	4 (10)	10 (14)	16 (18)	17 (21)	28 (25)	33 (30)	39 (32)	46 (37)	49 (43)	49 (47)	49 (48)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (1)	1 (0)	3 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (1)	14 (6)
	2. 政令市	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (1)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (7)
	3. 一般市	0 (3)	1 (6)	3 (2)	3 (1)	0 (3)	3 (2)	3 (2)	5 (2)	4 (3)	1 (3)	0 (3)	0 (0)	23 (30)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (5)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	0 (4)	0 (1)	49 (48)
発生施設	1. 管渠	1 (2)	2 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (2)	2 (1)	1 (1)	3 (2)	4 (2)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	18 (21)
	2. マンホール	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (1)	10 (4)
	3. 処理場	0 (1)	0 (1)	3 (1)	3 (3)	1 (0)	5 (1)	1 (3)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	15 (12)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (4)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (7)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	0 (4)	0 (1)	49 (48)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	1 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (1)	0 (2)	6 (2)	3 (4)	4 (1)	2 (1)	2 (2)	0 (3)	0 (0)	27 (21)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (1)	0 (4)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (3)	1 (2)	0 (1)	0 (1)	7 (15)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (1)	0 (1)	1 (1)	2 (2)	1 (1)	4 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	15 (12)
	合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	0 (4)	0 (1)	49 (48)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	3 (4)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (1)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (5)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (1)	0 (4)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (11)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	1 (1)	2 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	3 (2)	2 (3)	4 (1)	3 (2)	2 (3)	0 (2)	0 (1)	20 (18)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (2)
	水質事故 合計	1 (3)	2 (6)	4 (4)	3 (2)	1 (2)	6 (4)	4 (5)	6 (2)	6 (5)	3 (4)	0 (3)	0 (1)	36 (41)
	その他案件	0 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (2)	0 (1)	5 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	13 (7)
水質事故等 合計	1 (3)	3 (7)	6 (4)	6 (4)	1 (3)	11 (4)	5 (5)	6 (2)	7 (5)	3 (6)	0 (4)	0 (1)	49 (48)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	2 (4)
	② 耐用年数以内	1 (0)	1 (1)	2 (0)	3 (0)	0 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	3 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	16 (8)
	③ 天災等	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (5)
	合計	1 (1)	1 (2)	3 (0)	3 (1)	0 (2)	1 (1)	2 (2)	3 (1)	4 (1)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	18 (17)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()内書きは、前年度(平成28年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

平成29年度

平成30年1月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
1月								
1	H30.1.18	2. 政令市	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出		伏越部の管渠閉塞により、道路上のマンホールから汚水が溢水した。	定期点検の強化(点検頻度を上げる)
2	H30.1.21	3.一般市	管渠	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出		灯油移動販売車の給油ノズルが折れ、灯油が流出し、雨水幹線を経由して河川へ流出した。	事業者への指導
3	H30.1.24	1. 都道府県	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出		空気抜弁の点検を行った際に、弁を間違えて取り外してしまい汚水が道路に流出した。	①作業前に圧送が停止していることを確認する。 ②作業前に空気抜弁の構造図等を確認する。